

2008 年度

科目名 経済学概論 B	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 近藤 篤俊
授業テーマ 日本の経済成長を色々な側面から考えてみよう。		
授業の概要と目標 「経済学概論 A」では資本主義経済を中核にもつ市場経済の構造の基礎について学びましたが、この講義では経済社会が持つ具体的な諸側面（国民経済と経済政策、戦後の日本経済、国際経済、現代の経済的諸問題等）について、学習します。		
評価方法 出席状況に重点を置き、期末テスト、授業時間内の発言や課題提出状況、受講態度等を含めて総合的に判断を行います。 (出席&毎時間行う提出課題 55%、期末テスト 35%、授業中発言、受講態度等 10%の割合)		
テキスト 自作プリントを使用します。	著者	出版社
参考書 授業初回時に指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (スケジュール・内容) 1. 経済学概論 A のまとめ (ガイダンス) 2. 3つの経済主体と経済循環・国民経済と経済政策 3. 国民所得 4. 国民所得の決定と経済成長・景気変動 5. 金融と金融政策・銀行の機能 6. 財政と財政政策 7. 日本経済の戦後復興・高度経済成長 8. ドルショック、オイルショック・財政危機 9. 円高経済・バブル経済・バブルの崩壊・平成不況 10. 産業構造の変化・資源問題・環境保全 11. 物価問題・消費者の保護・労働問題・社会保障 12. 国際経済・国際分業・貿易・外国為替・国際収支 13. 国際経済の戦後の展開・地域的経済統合 14. 発展途上国の経済・地球環境問題 15. まとめ・テスト (注意事項) - 遅刻をしない事。近藤の授業は、遅刻者に対するチェックについて大変厳しく行っているので十分注意して下さい。 - 各項目は 0.5～3 時間で、問題演習を交えながら授業を進めます。 - 随時、「簡単な」確認テストがあります。 - 講義前の予習（個人学習）で前もって不明・疑問点を明確にしてから講義に望むこと。		